

自治体の技術面でのチェック機能を高めるため、専門家に助言をいただく組織として「新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会」を設置しました（平成15年2月5日発足）。現在、委員として、関連する各分野から5名の有識者を委嘱しており、各委員には必要に応じて専門分野についての助言をいただいています。

柏崎刈羽原子力発電所6号機の運転再開に当たっては、前述のとおり自治体として直接点検状況を確認するとともに、国から定期検査の実施状況について説明を受け、技術委員からの意見も踏まえて「6号機の安全な運転に支障はない」とする国の見解は技術的な観点からは合理的



柏崎刈羽原子力発電所6号機格納容器漏えい率検査立会い

● 技術的な確認

性があるものと判断しました。こうした技術的な確認も踏まえ、5月7日、新潟県知事、柏崎市長、刈羽村長は協議の結果、改良型の原子炉で傷のある1〜5号機とは構造が異なり、点検の結果シユラウドに傷も認められなかった6号機の運転再開を受け入れることを妥当と判断しました。

柏崎刈羽原子力発電所の取り組みについて
(東京電力の説明)

▼ 榎本副社長あいさつ

- ・ 不祥事についてのお詫び
- ・ 会則にあるとおり積極的に情報を公開し、誠実に説明責任を果たすこと、会のご意見・ご提言を謙虚に受け止め尊重することを約束
- ・ 地域の皆様が開かれた、隠し事のない透明性を持った発電所になるよう一層努力することの表明

▼ 武黒所長説明

一、総点検結果

発覚した不祥事と同じ様な問題はなかったのか、過去十一年間遡って書類を調査し、

国に報告。

● 結果(概要)

- ・ 技術基準違反や報告義務違反等の不正なし
- ・ 「報告または情報提供に関する問題」または「改善が望まれる軽微な指摘事項」が認められたもの三件
- ・ その他誤記や印漏れ

【調査概要】

総点検の様子



1. 総点検結果
(その3: 調査概要)

- ・ 昨年9月～本年2月末まで、約800万ページに及ぶ工事報告書、検査成績書を精査
- ・ 調査に要した延べ人数は約15,000人
- ・ 調査の透明性、客観性確保のため、第三者期間であるロイドレジスター社が参画

二、再発防止対策

① 品質保証システムの改善

独立組織による監査、第三者によるチェック、並びにマニユアル類の整備等を実施中。

- ・ 社外有識者による「原子力安全・品質保証会議」が、

原子力部門の仕事を客観的視点で監査。

・ 社長直属の監査組織（品質監査部）が発電所に常駐し、重要な会議や作業に立ち会いながら監査

・ 発電所における設備・人間的の不具合、業務プロセス上の問題全てを文書で「不適合管理委員会」に報告させ、重要度に応じて処理責任者を決定する仕組みを導入。

取り組み事例(2)「不適合管理委員会」



② 企業倫理の遵守と風土改革

「企業倫理委員会」を中心に倫理の徹底に努めると共に、原子力部門の閉鎖性の反省に立って、他部門との人材交流